就労継続支援A型事業所におけるスコア表(実績 I ~IV)

前左连(今和2左连)			(Ⅰ)労働時	FID .					
前年度(令和2年度) 雇用契約を締結していた全ての利 用者における延べ労働時間	13, 593	時間	雇用契約を締結していた延 ベ利用者数	2, 418		利用者の1日の平 均労働時間数	6		
会計期間 (4月~ 3月)			(Ⅱ)生産活	動					
前々年度(平成31年度)									
主産活動収入から経費 を除いた額	9, 799, 655	四	利用者に支払った賃金 総額	20, 423, 849	円	収支 ▲	10, 624, 194		
前年度 (令和2年度) 上産活動収入から経費	6. 445. 974	\neg _	利用者に支払った賃金	18, 500, 514		収支	12, 054, 540		
ティスタイプ (令和2年度) における		な働き方」の	総額 (皿)多様な個 D各項目において「就業規則等	lき方	円				
〕免許・資格取得、検定の受 ☑免許・資格取得、検定の受 □関する制度を活用した人数		◎職員	者を職員として登用する として登用した人数 1名は雇用継続期間が6月1	● 名		勤務に係る労働条件 ≧勤務を行った人数	及び服務規律	● 名	
取得を進めた免許等: (000	◎うち ※登用	1名は前年度末日まで雇用組 した日 ●年 ●月 形態: ○○○	継続している	就業	した期間:●月●日 時間 (在宅勤務) : ●E 内容: ○○○	侍●分~●時● 分		
OO		就業	時間: ●時●分~●F 内容: OOO	持●分	194.127	778			
フレックスタイム制に係る のフレックスタイム制を活用し			間勤務に係る労働条件 間勤務に従事した人数	● 名		出勤制度に係る労働 出勤制度を活用した		● 名	
※実施した期間: ●月●日~●月●日 就業時間(コアタイム): ●時●分~●時●分 職務内容: ○○○			※実施した期間: ●月●日~●月●日 就業時間 (短時間): ●時●分~●時●分 職務内容: ○○○			※実施した期間:●月●日~●月●日 就業時間(早出の場合):●時●分~●時●分 就業時間(遅出の場合):●時●分~●時●分 職務内容: ○○○			
の有給休暇の時間単位取得又 助時間単位取得を活用した人数 動計画的付与制度を活用した。 取得した制度 有給休暇の時 計画的付与制度 計画的付与制度 取得した制度 4月1日~3月 取得した期間 4月1日~3月 取得日数・時間 45日 日	名 人数 9名 時間単位取得 度	◎傷症 ※取得 取得 就業	休暇等の取得に関する事 休暇等を取得した人数 した内容: 統合失調症 した期間:6月11日~7月 時間: 8時00分~17時 内容: 調理	1名	(※) 当[抜制度等を活用した任意 0	D 1 名の実績を記載		
			(Ⅳ) 支援力	向上					
前年度(令和2年度)における	実績(<u>全体表「(Ⅳ)支援</u>	力向上」の名	各項目の取組ありとした場合に	実績を記載)					
① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 ② 研修計画を策定している ② 研修実施回数 外部 ●回/内部 ●回 対象職員数 ● 人 うち研修受講者数 ● 人 ※ 研修名 ○○○ 実施日・受講者数 ● 月 ● 日 ● 人			②研修、学会等又は学会誌等において発表 ◎ 研修、学会等又は学会誌等において 発表している回数 ※ 研修、学会等名 東施日 ● 月 ● 日 ※学会誌等名 ○○○ 掲載日 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			③視察・実習の実施又は受け入れ ②先進的事業者の視察・実習の実施している ③他の事業所の視察・実習を受け入れている ※先進的事業者名 瑞穂農芸高校 実施日/参加者数 月 21 日 1 人 ※他の事業所名 ○○○ 実施日/参加者数 ● 月 ● 日 ● 人			
	加回数	◎ 職員 ◎ 当割 人 事詞 うち昇	の人事評価制度 の人事評価制度を整備し の人事評価制度を周知して 価制度の制定日 価制度の対象職員数 ・総・昇格を行った者 事評価制度の周知方法		_ ◎ピア ◎当該 を受		害者ピアサポート研修」		
内容 OO(⑦第三者評価 ⑨前年度末日から過去3年以 福祉サービス第三者評価を	内に	多国際 ○国際	事計画制度の周和方法 ○○○ 「標準化規格が定めた規格 「標準化規格が制定したマ 「等の認証等を受けている	'ネジメント	498.495	<u> </u>			
第三者評価機関 特定非営	9月30日 利活動法人 機構アシスト		を受けた日 ● 月 等の内容 ○○○	● 目	(※) 定4	績のうち1事例を記載			